

「学生、職員、そして就職先の皆様が満足いただけるよう、天使大のブランドの持つ意味を深め発展させていきたい」。

4月1日、同大看護栄



養学部教授から就任。18歳人口が減少する中、大学の維持・発展に向け、地域、個に目を向けたマネジメントに取り組む。宗谷管内枝幸町出身。

天使大学長に就任した

二宮 信一氏



1977年に法政大卒業後、北海道YMCAに就職。青少年教育に携わってきた。2011年に北

大大学院博士課程を満期退学。北教大釧路校教授を経て、23年4月から天使大に勤務する。

発達障害児者支援に力を注ぎ、地域のネットワークづくりを進めてき

ブランドを深め、発展させる

たほか、特別支援教育、インクルーシブ教育等も研究し、数々の論文を発表。アイスランドで調査研究に取り組み、地域独自の「地域型インクルーシブ教育」を提唱した。そうした経験を生かし「課題を見つけて解決し、社会貢献していく力を身に付けた学生を育成していきたい」と展望。そのため職員が働きやすい環境づくりを進める考え。普段、ネクタイは締めず、ジーンズで勤務する。「建学の精神を現代的に問い直し、自由な発想で取り組んでいきたい」。